# （様式３－２ａ）

**使用計画変更届出書**

　　　　年　　月　　日

文部科学大臣　殿

（使用機関の名称）

（使用機関の長の役職・氏名）

ヒトＥＳ細胞の使用計画の変更について、ヒトＥＳ細胞の使用に関する指針第14条第３項の規定により、別紙のとおり届け出ます。

（記載要領）

・申請書の最終版の正式な提出にあたり、押印は不要。ただし、機関の手続き上押印が必要な場合は、押印を妨げない。

（なお、文科省における申請書の事前チェック後、最終版を提出する際、押印をしない場合は、申請書１枚目の右上に朱書き枠囲い(18ポイント以上)で正本と明記の上、メールでファイルを提出すること。押印をする場合は、押印した書類の原本を郵送すること（正本の表記は不要）。）

## （様式３－２別紙）

**使用計画変更書**

|  |  |
| --- | --- |
| 使用計画の名称 |  |
| 使用機関の名称 | （記載例）○○大学○○学部 |
| 使用責任者の氏名 | （記載例）文科　○○（もんか　○○） |
| 変更内容 |  |
| （記載要領：使用計画書の変更内容について、変更の前後がわかるように記載すること。）（記載例１）使用責任者である○○○○の異動に伴い、使用責任者を現在本使用計画に参画している○○○○に交代する。○○○○は現在本使用計画の研究を中心的に実施しており、後任として適切であると判断した。（記載例２）研究室の配置転換に伴い、○○棟○○研究室（ヒトＥＳ細胞実験室）を削除し、○○棟研究室を追加する。追加する研究室はCO2インキュベータ、液体窒素タンク、○○を備えており、使用機関の基準を満たしている。詳細は添付資料３のとおり。（記載例３）研究期間について○年○月○日までとしていたところ、○年間延長し、○年○月○日までとする。現在、使用計画書の使用の方法に記載の２．○○まで研究が進んだが、３．○○の研究を実施中であるため、期間延長が必要である。（記載例４）国内で使用実績のある海外ヒトＥＳ細胞H1株を追加する。 |

添付資料１：使用計画の変更に係る倫理審査委員会における審査過程及び結果

（※実質的な内容の変更ではない場合は審査及び添付不要）

（添付資料２：使用責任者交代の場合は様式３-１の添付資料１を用いて下さい。）

事務担当連絡先

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 記載例：文科　○○（もんか　○○） |
| 部署名 | 記載例：○○大学研究支援課 |
| 電話番号 | 記載例：00-0000-0000 |
| E-mail | 記載例：○○＠○○.ac.jp |